

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □ あい じようを □ うけ て □ そだつ

② □ たてる 〇 □ いっしゆうかん □ いない にキャンプの □ けいかく を

③ □ えひめけん の □ めいしよ を □ あんない する。

④ □ なわ とびの □ たいかい で □ いちい になつた。

⑤ □ えんすう で □ くじらごり の □ べんぎよう をした。

国ご 四一二 (書き)	第四がく年の漢字(書き)	名前	年	組	番
-------------------	--------------	----	---	---	---

取り組んだ日 月 日

次つぎの文ぶんの□に当あてはまる漢字かんじを書かきましよう。
送おくりがなにも気きをつけましよう。

① □がつきゅうしんぶんを□いんぎつして□せいとに

□くばる。

② □はたけにかこまれた□あかいの□やねの□いえが

□めじるしです。

③ □えいようのバランスに□ちゅういして□りようり

を□つくる。

④ □むかし、□さかえていた□みなとの□しゅうへんを

□さんぽする。

⑤ □えいごの□ちからを□やしなう。

国語 四―三 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
-------------------	--------------	----	---	---	---

取り組んだひ	月	にち
--------	---	----

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □の□は □をこえている。

② □を□すこし□くわえる。

③ スポーツ□□に□さんかする。

④ □かう□。□の□くだもの□を□ひやつかてんで

⑤ はん□の□やくめ□を□はたす。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □_{ほうかご} に □_{しあい} の □_{けつか} を □_{きく}。

② □_{あさがお} の □_め が □_{でる}。

③ □_{だいず} がいつせいに □_{はつが} した。

④ □_{じごうしやごうじよう} の □_{まかい} が □_{おおきな}。

□_{おと} を □_{だす}。

⑤ □_ひ ごろからさい □_{がい} にそなえておく。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □^{かいりよう}した□^{ひつぎ}が□^{とび}□^{たつ}。

② □^{しよくぶつ}の□^{かんさつ}を□^{あらため}てやり□^{なおす}。

③ □^{じゆうぶん}にねたので、□^{からだ}の□^{ちようし}が□^{よい}。

④ しょう□^{らい}は、けい□^{さつかん}になりたい。

⑤ □^{むれ}を□^みた。
□^{ぐんまけん}で□^{ほうぼく}されてる□^{ひつじ}の

⑥ □^{とくばいひん}に□^{おおく}の□^{きやく}が□^{むら}がる。

こく語
四一六
(書き)

第四学年の漢字 (書き)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① しょうてんがい までの いきかた を おぼえる。

② まちかど の お に せかい かつこく の
ちようみりよう が うら れている。

③ めいせ での ゆびなめ かんかく が ない。

④ ねん の ざくひん を かんせい させる。

⑤ めいまいしどけい が なる。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① ロケットの□しやに□する。

② □をあらう。

③ □な□にむねがおどる。

④ □にストローのような□を□。

⑤ なせば□なさねば□ぬ□も。

⑥ □に□に□。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① せんそう
が なく
なることを ねがう。

② しあい
で たたかう
あいて
のこことを ねんいり
に しらべる。

③ あらそい
を のぞむ
ひと
はいない。

④ りよいひなま
は ふくいけん
を きぼう
します。

⑤ ながねん
の ひがん
を はたす。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① なかま に きょうりよく を もとめる 。

② しあい に やぶれ 、 たいかい れん ぱを たっせい 。

するゆめが、はかなく ちっ た。

③ さんぼちゆう に ともだち を みかけ た。

④ はいしや ふっ かつせん を かし あがる 。

⑤ えぎ に きゆうじん のポスターがはってあった。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① この□あたりは□じょうかまちだつた。

② □せんしゆが□けんこうなのは□しよくじのおかげだ。

③ □ながさぎけん□で、□うみへ□の□けしぎ□のきれいな□を□えらび、□いえ□を□たてる。

④ この□へん□には□けん□せつ□ちゆう□の□たてもの□が□おおい。

⑤ □みやぎけん□にあつた□ふるい□しろう□について□しらべる。

国語 四十一 (書き)	第四学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
-------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日 月 日

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにもきをつけましよう。

① わき □ で た □ が、 □ に □ 。

② □ けつなガーゼをたなに □ 。

③ □ が □ する。

④ □ の □ を □ 。

⑤ □ な □ の □ 。

国語 四十三 (書き)	第四がく年の漢字(書き)	名前	年	組	番
-------------------	--------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □^{きょうとふ}にある□^{かいしゃ}で□^{はたらく}。

② ノートに□^ふせんを□^{つける}。

③ □^{かがわけん}の□^{とくさんひん}をならべる。

④ かれは□^{はくがく}で□^{なん}でも□^{しつ}ている。

⑤ □^{あね}はみんなから□^{しん}らいされている。

⑥ □^{はる}が□^{ちか}づき、□^{うめ}の□^{はな}の□^{かおり}がただ

よう。

国語 四十四 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
-------------------	--------------	----	---	---	---

取り組んだ日 月 日

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □の□を□。

② アフリカを□だんする。

③ □がくつのひもを□。

④ □て□を□する。

⑤ □の□を□□たい。

国語 四十五 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
-------------------	--------------	----	---	---	---

取り組んだひ	月	にち
--------	---	----

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① ノートに センチメートルの

をか。

② 、をている。

③ バスがしてもて
いった。

④ おおきなこえでわらう。

⑤ ほつきよくでは、オーロラをみる
ことができる。

国語 四十六 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
-------------------	--------------	----	---	---	---

取り組んだひ	月	にち
--------	---	----

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □の□は、□で□を

□。

② □が□て□ちゃんたん□

を□。

③ □の□を□にかざる。

④ □の□に、□がふつた。

⑤ □この□の□を□のは

□だ。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。
送りがなにもきをつけましょう。

① いばらぎけん で つくら れた やさい を かう。

② ただしい ことは、 ゆうぎ をもって

じしこう しよう。

③ テレビで しょうじょうぎゅうで の しょうじょうぎゅうで

こうしん を みる。

④ たいいく で じゅんばん に そくてん の れんしゅう をする。

⑤ みぎがわ の たな に きょうかしよ をしまう。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① ぼうどう じかん みがく
□ □ が □ なった。

② はじめて きゆうりよう
□ □ をもらう。

③ けい さつかん もくひよう
□ □ になるという □ に
むかつ □ して、 □ する。

④ じかん けんぎゆう つとめる
□ □ をおしんで □ □ に □ 。

⑤ みんなで きゆうりよく して せいごう させる。

国語 四十九 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	名まえ	年	組	番
-------------------	--------------	-----	---	---	---

取り組んだひ	月	にち
--------	---	----

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① こんなかん□な□をとくのは

あざめしまえ
□
だ。

② □のしたくを□に□。

③ ここは、□で□の□

に□だ□です。

④ お□に□をたく。

⑤ □が□に□。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにもきをつけましよう。

① □の□のごみを□。

② □あつが□づき□がある。

③ □から□が□。

④ □は□のもと。

⑤ □はすっかり□を□た。

⑥ □を□。

四十一 二十一 (書き)	国語	ねん	組	番
第四学ねんの漢字 (書き)		名前		

取り組んだ日	がつ	日
--------	----	---

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □の□は、□が□だ。

② □の□は□です。

③ □の□を□した。

④ □の□にはお□が□して

いた。

⑤ □が□てくる。

国語 四十二 (書き)	第四学ねんの漢字 (書き)	名前	ねん	組	番
-------------------	---------------	----	----	---	---

取り組んだひ	月	にち
--------	---	----

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □の□は、□の□を

□
することだ。

② □を□てレジに□。

③ □なことを□。

④ おうぎの□の□。

⑤ □た□に、つくえを□。

こく語 四—二十三 (書き)	第四がく年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
----------------------	---------------	----	---	---	---

取り組んだ日 月 日

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにもきをつけましよう。

① □あか ちゃんがり □わらっ たり □ない たりする。

② □かいすいよく をしたので、シャワーを

□あび た。

③ あらゆる □ほうほう で □ち りようを □こころみる。

④ □こくみん のためのせい □じ。

⑤ □くに を □おさめる リーダー。

⑥ □いがく の □しんぽ によって □なおる □びんぎ が

ふえる。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □_{このみ}の□_{ぶく}を□_きて、□_{かがみ}で□_{みる}。

② □_{まじ}の□_{だいすき}なカレーを□_{つくる}。

③ □_{しそん}の□_{きらく}のために□_{のこす}を□。

④ □_{いじやうじ}の□_{すみび}いwashを□_{やく}で□。

⑤ □_{かんざつ}の□_{ひかり}けい□_{きやうじ}の□_{きやうじ}では、□_{きやうじ}けんび□_{きやうじ}で

□_{かんざつ}するの□_{じゆうぶん}に□_{じゆうぶん}ではなかつた。

国語 四一二十五 (書き)	第四学ねんの漢字 (書き)	名前	ねん	組	番
---------------------	---------------	----	----	---	---

とり組んだ日	月	日
--------	---	---

次の文の□にあてはまる漢字を書きましよう。
 おくりがなにも気をつけましよう。

① ここでは を してまいます。

② パソコンを して じようを

。

③ 、 に するとし

よう。

④ で と をおしむ。

⑤ ボールを に を、
 を て する。

国語 四一二十六 (書き)	第四学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
---------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日 月 日

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① 「おもちやの□の□をピア

ノでひく。

② □まで□が□。

③ □をして、□を□かんする。

④ □ゴムを□で□。

⑤ □どもを□て□に□。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □の□ □の□ □の□
た は できざみ、チャ

ーハンの□にした。

② □の□ □の□ □の□
はさいていたが、 □ なこ

とに、さくらは□てしまっていた。

③ □の□ □の□ □の□
の で 。

④ □の□ □の□ □の□
をふるしきに □ 。

⑤ □の□ □の□ □の□
にくらべ、 □ は □ が

ゆたかだ。

次の文の□に当てはまる漢字をかきましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① ことば の いみ を しらべる ときには

こくごしてん が べんり だ。

② たすけ てくれたお を せん に かく。

③ この あたり は しぜん が ほう だ。

④ とやまけん に すむ なかま から たより が

とどく。

⑤ しずおかけん は、お の さんち として

ゆうめい だ。

⑥ いちだい で、 ばく だいな な とみ をきずく。

国語 四―三十 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
--------------------	--------------	----	---	---	---

取り組んだ日 月 日

次のぶんの□に当てはまる漢字を書きましよう。送りがなにも気をつけましよう。

① さめ たスープを あたためる。

② れい ぼうがききすぎて からだ が ひえ た。

③ つめたい のみもの を ちゅうもん する。

④ かいぎ に さんか する。

⑤ にいがたけん まで でんしゃ で まいり ます。

国語 四―三十一 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
---------------------	--------------	----	---	---	---

取り組んだ日 月	日
-------------	---

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □^{とも}に□^{どりよく}し、□^{かかわり}□^{あう}□^{なか}で

□^{せいちよう}する。

② □^{ふたつ}の□^{きよう}ぎに□^{きようつう}することを

□^{かんがえる}。

③ □^{くんれん}によつて□^{かんせつ}の□^{うごき}を

□^{よく}する。

④ □^{けいばじよう}の□^{ちかく}に□^{こうえん}がある。

⑤ かつお□^{かひ}をかける。

⑥ 八王子市には、□^{むかし}、小仏□^{こぼとけ}□^{せきしよ}があつた。

国語 四―三十二 (書き)	第四学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
---------------------	--------------	----	---	---	---

取り組んだひ	月	にち
--------	---	----

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① オリンピックで□をつとめる。

② □らん□で□をふつておうえんする。

③ □たすばらしい□が□も□に□ている。

④ □じられない□に□をうたがう。

⑤ □のプロ□の□を□。

国語 四―三十四 (書き)	第四学ねんの漢字 (書き)	な前	ねん	組	番
---------------------	---------------	----	----	---	---

取り組んだ日 月 日

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
 送りがなにも気をつけましよう。

① □
そうご
 を □
かりる
 。

② 鎌かま □
くら
 には、 □
おおく
 の □
ふるい
 □
てい
 がある。

③ □
ちち
 の □
まんねんひつ
 を □
しゃくよう
 する。

④ □
あたらしい
 □
だいじん
 の □
はなし
 を □
きく
 。

⑤ □
ゆうじん
 の □
いう
 ことを □
しん
 じる。

次のぶんの□に当てはまる漢じを書きましよう。送りがなにも気をつけましよう。

① お□が□た。

② □が□をかくにんする。

③ □の□の□。

④ □の□で□を□。

⑤ □で□に□をゆずった。

⑥ □はだれでも□ていく。

国語 四―三十六 (かき)	第四がく年の漢字 (かき)	年 月 日	なまえ 年 月 日 番
---------------------	---------------	-------------	-------------------------

次の文の□に当てはまる漢字をかきましょう。
 送りがなにも気をつけましょう。

① が で た。

② の 。

③ に の を 。

④ が まいで だ。

⑤ で をする。

次のぶんの□に当てはまる漢字を書きましよう。送りがなにも気をつけましよう。

① きんぎょ が うむ たまごを 。

② あおもりけん は さんち りんごの だ。

③ りょうり で しお の りょう を はかり まちがえた。

④ じゆ もん を となえる。

⑤ し を あんしよう する。

次のぶんの□に当てはまる漢字を書きましよう。送りがなにも気をつけましよう。

① □ を □ たことを □

する。

② □ の □ にみんなで □ に

③ □ を □ りやくして、かん □ にする。

④ □ の □ を □ 。

⑤ □ は □ の □ た □ だ。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① みんなで□の□を□た。

② ひぎに□をまく。

③ が、つまに□を□。

④ が□みを□た□にそまる。

⑤ □んぼで□が□ている。

⑥ □の□の□を□。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □は □の、 □は □の

□だ。

② □は、 □、 □、 □、
□の □ととなり □ている。

③ □や □、 □など
□をめぐる。

④ □に □に □をした。

⑤ □の □は、 □に □

されている。